

2026年度 群馬大学共同教育学部
学校推薦型選抜

教育専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め2枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出てください。
3. 受験番号と氏名は全ての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

教育専攻 小論文

次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

なお、文中に登場する「親問題」という言葉について、筆者は、より根本的な問題を「親問題」とし、「親問題」をより答えやすく、次元を低くした問題を「子問題」と位置づけ、「子問題」がすべて悪いわけではないが、「子問題」ばかりを扱うことで、「親問題」を考えなくなることを問題だと指摘している。

著作権保護のため、掲載不可

出典：鶴見俊輔『教育再定義への試み』岩波書店、1999年、132-134ページ。

（原文は縦書きであるため、出題にあたり、漢数字を算用数字に変更した）

問1：下線部「この状態は教師にとっても、職業遂行上有利である」について、なぜ有利になるといえるのか、その理由について考察しなさい。

問2：筆者は、学校では「親問題」を問うことはなく、入試では自分で問題を立てて考える習慣がない方が有利に働く、と指摘している。このような見立てについて、あなたは賛同するか、あるいは異議を唱えるか。その理由を含めて述べなさい。

（計 800 字以内）